

北九州市産業振興未来戦略

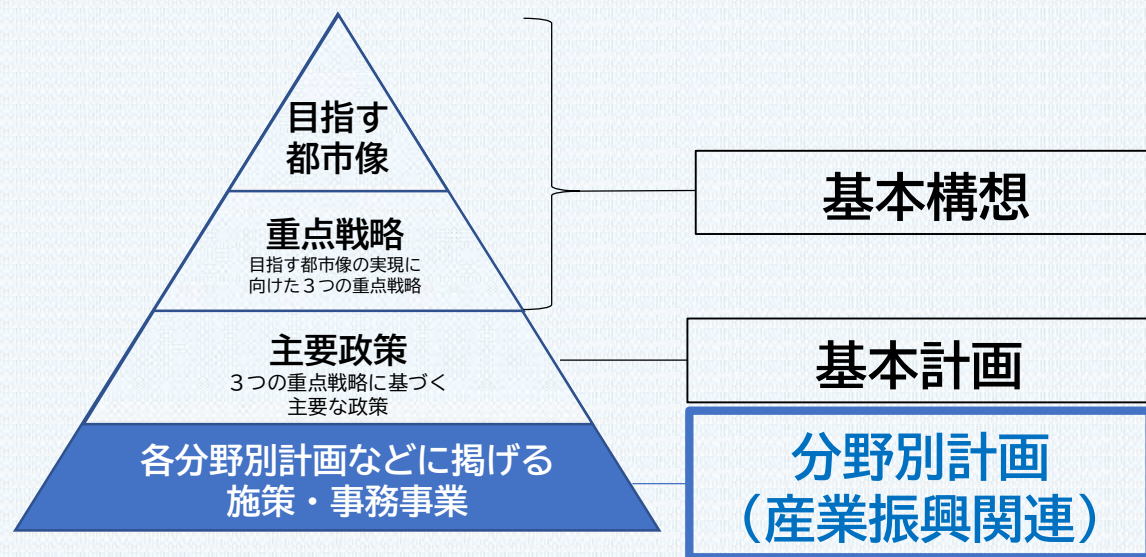


令和 6 年 3 月
北九州市産業経済局

戦略の位置づけ

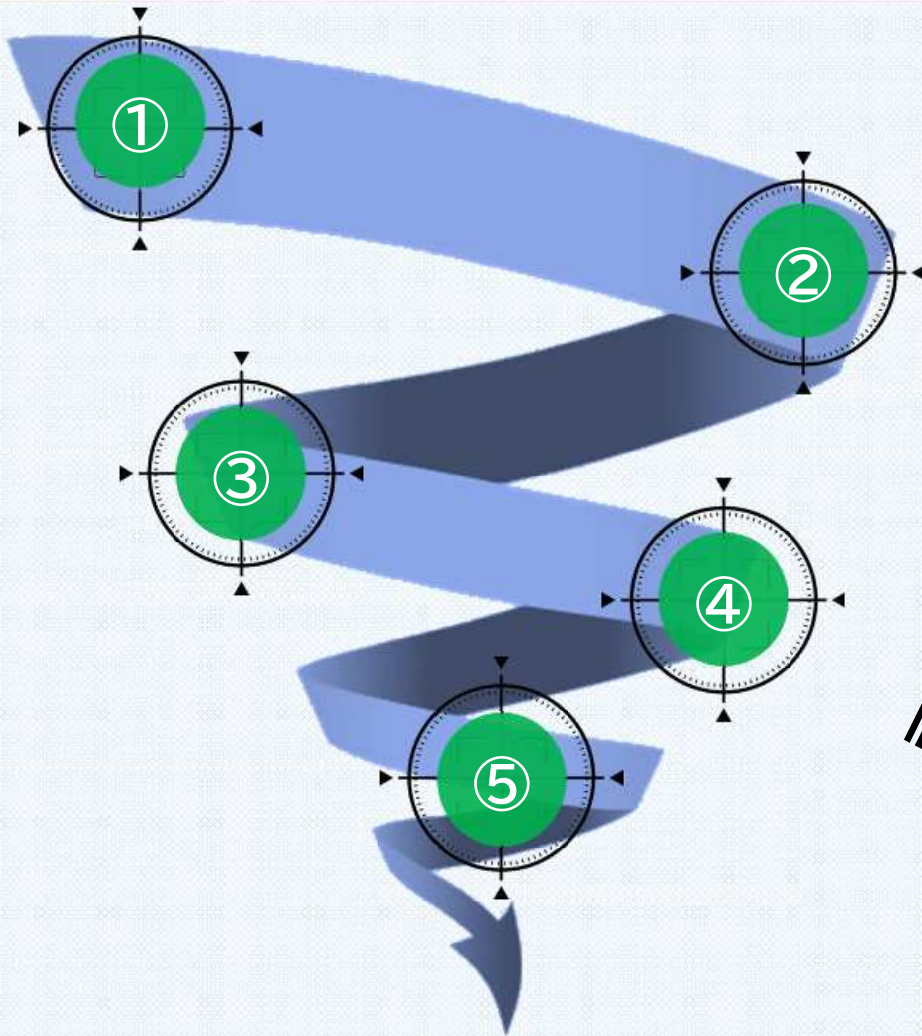
今後のまちづくりの方向性を示す北九州市基本構想・基本計画では、経済成長を最優先課題に位置付けており、**10年以内に市内総生産「4兆円」**を目指すこととしています。

本戦略は「稼げるまち」の実現に向けた具体的な道しるべ（指針）であるとともに、北九州市基本構想・基本計画の分野別計画という位置づけになります。



【計画期間】

5年間（2024年度～2028年度（令和6年度～10年度））の計画とします。



北九州市の経済が停滞した主な要因

- ①人口減少の中での投資停滞
- ②第三次産業の成長停滞
- ③基幹産業である製造業の伸び悩み
- ④産業の新陳代謝停滞
- ⑤若者の人材流出

停滞からの「再起動」に向けて
負のスパイラルをプラスの好循環
に転換させていく



①人口減少による国内需要の減少、
労働力不足の深刻化

②デジタルテクノロジーの急速な発展

③カーボンニュートラル実現に向けた
競争環境の変化

④地政学リスクの高まり

⑤自然災害の激甚化・頻発化





ポテンシャル



① 豊富な理工系人材



② 北九州学術研究都市（知の集積）



場

ポテンシャル



③ 24時間利用可能な北九州空港



④ 陸・海・空の充実した物流インフラ



⑤ 豊富な工業用水



⑥ 次世代エネルギーの集積



⑦ 災害の少なさ（BCP）



⑧ 低廉なコスト



企業

ポテンシャル



⑨ ものづくり企業の集積



⑩ 環境産業の集積



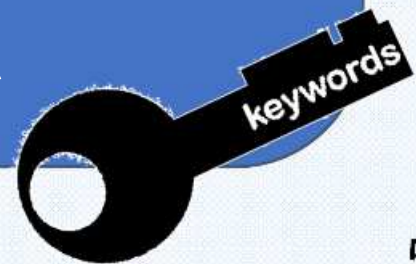
行政だけでは得られない民間ならではの視点、新しい発想やアイデアを取り入れることを目的に、北九州市未来産業創造会議を設置



<会議の中で多くの方から発言のあったキーワード>

- ・ 目指すべき方向性を明確化
- ・ ポテンシャル(災害リスクの低さ、グリーン、ものづくり技術、学研、空港、物流インフラ)を开花
- ・ 周辺都市との連携
- ・ 掛け合わせ
- ・ 課題解決に活路
- ・ 特区の活用（健康・医療、農業等）
- ・ 高付加価値化
- ・ ブランディング（観光等）
- ・ テック系人材
- ・ 人材育成・確保
- ・ 多様な人材の活躍促進
- ・ 産学官連携

など



3 戦略で目指す姿と方策（体系図）

【スローガン】 **世界を先導する「グリーン×テック シティ Kitakyushu」**
～課題解決先進都市への挑戦～

実現のための3つの戦略

[戦略①]
地域企業の成長・発展と
高付加価値化戦略
〈稼げる企業に変革する〉

[戦略②]
産業の裾野を広げる
成長産業創出戦略
〈稼げる企業を創出する〉

[戦略③]
「民」が主役の資源活用戦略
〈稼げる企業が活躍する〉

戦略を支える6つの横断的方策

[方策①]
産業基盤のポテンシャル
開花
〈稼げる場づくり〉

[方策②]
学術研究都市の知の活用と
GX・グリーン産業の推進
〈稼げる基盤づくり〉

[方策③]
生産性向上と新しい価値
創造に向けたDX推進等
〈稼げる企業づくり〉

[方策④]
DE&I推進による誰もが
活躍できる環境の整備^(※)
〈稼げる人材づくり〉

[方策⑤]
アテンションを集める
ブランディング
〈稼げるきっかけづくり〉

[方策⑥]
メガリージョンの構築
〈稼げるエリアづくり〉

付加価値を
高める

[戦略①]
地域企業の成長・発展と
高付加価値化戦略
＜稼げる企業に変革する＞

[戦略②]
産業の裾野を広げる
成長産業創出戦略
＜稼げる企業を創出する＞

[戦略③]
「民」が主役の資源活用戦略
＜稼げる企業が活躍する＞

産業の裾野を
広げる

産業の裾野を
広げる

北九州市
経済の構造

ストックを
活用する

【最上位目標】

市内総生産 4兆円 (R15年度) ※R2年度 3兆6,696億円

実現のための3つの戦略

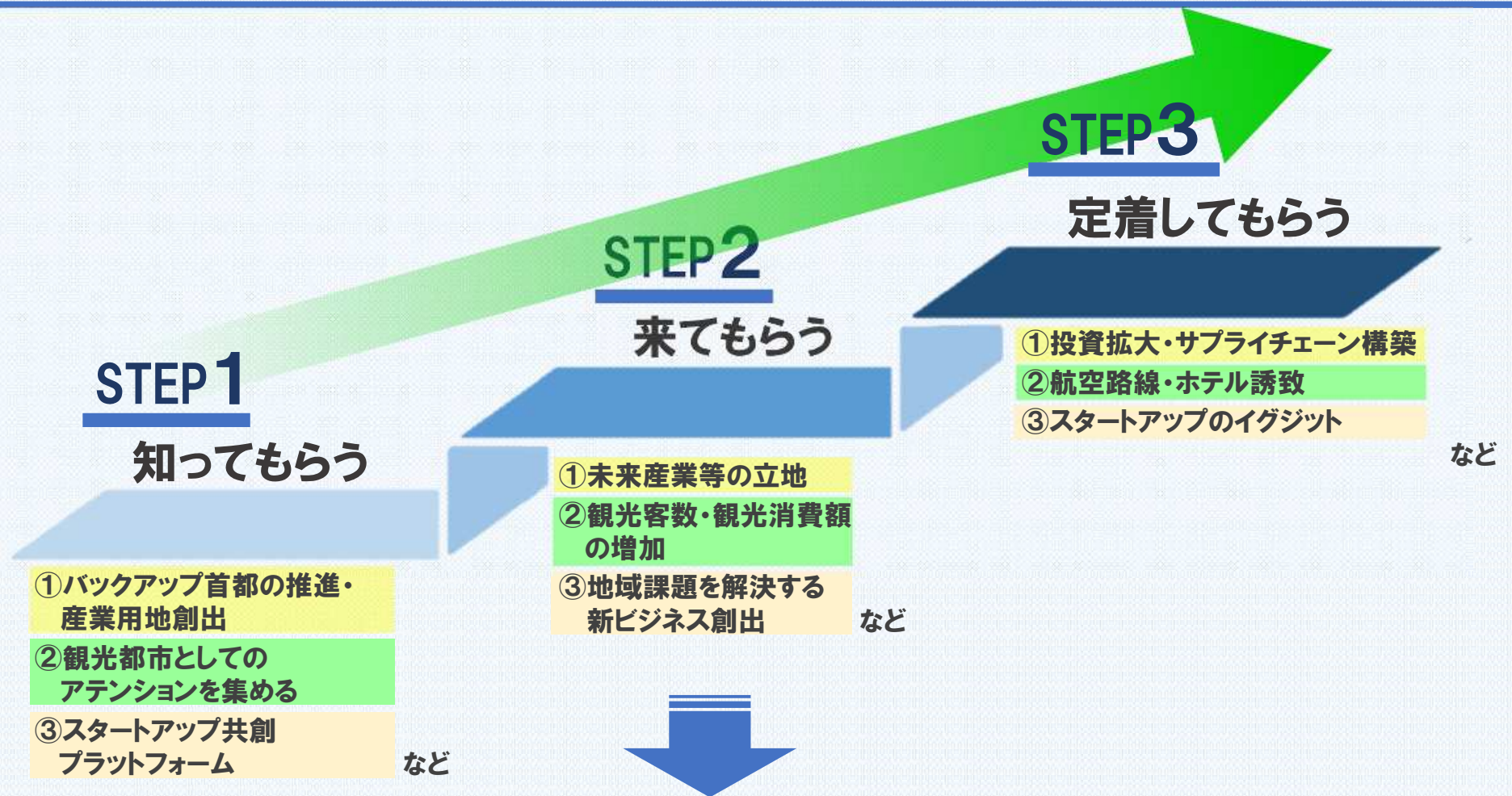
【戦略①】 地域企業の成長・発展と
高付加価値化戦略
〈稼げる企業に変革する〉

【戦略②】 産業の裾野を広げる
成長産業創出戦略
〈稼げる企業を創出する〉

【戦略③】 「民」が主役の資源活用戦略
〈稼げる企業が活躍する〉

ダッシュボード	検証指標
方策①産業基盤のポテンシャル開花	I 企業誘致件数 
	II 新規雇用創出数 (誘致) 
方策②学術研究都市の知の活用とGX・グリーン産業の推進	III 先端企業の集積・GX関連の新ビジネス創出企業数 
	IV 再生可能エネルギー導入量 
方策③生産性向上と新しい価値創造に向けたDX推進等	V 労働生産性 (全産業・うち第三次産業) 
	VI 雇用者一人当たりの雇用者報酬 
	VII スタートアップイグジット件数 
方策④DE&I推進による誰もが活躍できる環境の整備	VIII 新卒学生の地元就職率 
	IX 就業率 (女性・シニア・外国人) 
方策⑤アテンションを集めるブランディング	X 観光消費額・宿泊客数 
方策⑥メガリージョンの構築	XI スタートアップ資金調達額 
	XII スタートアップ誘致件数 

検証指標	現状	目標
方策①産業基盤のポテンシャル開花		
I 企業誘致件数	290件 (R1~5)	330件 (R6~10)
II 新規雇用創出数 (誘致)	4,200人 (R1~5)	5,100人 (R6~10)
方策②学術研究都市の知の活用とGX・グリーン産業の推進		
III 先端企業の集積・GX関連の新ビジネス創出企業数	—	先端企業集積 20社(R5~12) 新ビジネス創出 30社(R5~12)
IV 再生可能エネルギー導入量	436MW (R2)	1,400MW (R12)
方策③生産性向上と新しい価値創造に向けたDX推進等		
V 労働生産性 (全産業・うち第三次産業)	全産業 8,180千円/人(R2) うち第三次産業 7,363千円/人(R2)	全産業 9,000千円/人(R15) うち第三次産業 8,000千円/人(R15)
VI 雇用者一人当たりの雇用者報酬	4,631千円/人 (R2)	5,000千円/人 (R15)
VII スタートアップイグジット件数	—	3件 (R6~10)
方策④DE&I推進による誰もが活躍できる環境の整備		
VIII 新卒学生の地元就職率	35.7% (R4)	40.0% (R10)
IX 就業率 (女性・シニア・外国人)	女性 79.8% (R4) シニア 23.4% (R2) 外国人 72.1% (R2)	女性 82.0% (R10) シニア 30.0% (R 7) 外国人 80.0% (R 7)
方策⑤アテンションを集めるブランディング		
X 観光消費額・宿泊客数	827億円・173万人 (R4)	1,800億円・260万人 (R10)
方策⑥メガリージョンの構築		
XI スタートアップ資金調達額	—	100億円 (~R9)
XII スタートアップ誘致件数	—	50社 (~R9)



そして、中長期的に、この戦略の最終目標である

『世界を先導する「グリーン×テック シティ Kitakyushu」』
～課題解決先進都市への挑戦～

を実現していきます。

【方策①】産業基盤のポテンシャル開花

〈稼げる場づくり〉

- (1) バックアップ首都の推進
- (2) 経済安全保障の観点を踏まえた重点分野等の誘致促進
- (3) 民間の知恵と活力を生かした産業用地の創出
- (4) アジア諸国の成長力を取り込む対日投資の促進
- (5) 九州・西中国の物流ハブ形成

【方策②】学術研究都市の知の活用とGX・グリーン産業の推進

〈稼げる基盤づくり〉

- (1) 将来の経済成長を力強く牽引する未来産業の振興
- (2) 産学官金、オール北九州でGX投資を促進
- (3) グリーンステールへの転換に伴う事業変革
- (4) 「北九州グリーンインパクト」の推進
- (5) アジアの社会課題解決への貢献と国際ビジネスの推進

【方策③】生産性向上と新しい価値創造に向けたDX推進等

〈稼げる企業づくり〉

- (1) DX製造革命の推進
- (2) 地域を支える中小企業の成長・発展に向けた経営基盤の強化
- (3) 地域中核企業の飛躍的成長への挑戦
- (4) 商業・サービス産業の生産性向上、多様な新サービス産業の集積促進
- (5) スタートアップと多様な掛け合わせによる新たな価値の創造
- (6) 国家戦略特区など規制緩和による投資環境の整備

【方策④】DE&I推進による誰もが活躍できる環境の整備

〈稼げる人材づくり〉

- (1) 将来を担う若者の地元就職促進と魅力的な職場づくり
- (2) 女性がいきいきと働きやすい環境づくり
- (3) シニア・外国人材など多様な人材が活躍できる環境の整備
- (4) 地域経済の担い手である中小企業を支える人材の確保・育成
- (5) 能力開花につながるリスクリングの促進

【方策⑤】アテンションを集めるブランディング

〈稼げるきっかけづくり〉

- (1) 北九州市への関心呼び覚ます広報・ブランディングの推進
- (2) 首都圏等における企業誘致プロモーションの強化
- (3) 人を呼び込み、にぎわいを創出する観光・MICEの推進
- (4) 経済成長のエンジンとなるインバウンドの推進
- (5) 国内外の若者を惹きつけるエンターテインメントの推進

【方策⑥】メガリージョンの構築

〈稼げるエリアづくり〉

- (1) エリアで惹きつける広域観光・インバウンド・MICEの推進
- (2) エリアで呼び込む広域産業集積・投資の促進
- (3) エリアで掛け合わせる広域連携スタートアップ支援の推進
- (4) 北九州空港、福岡空港の役割分担と相互補完の推進

（仮称）北九州市産業共創プラットフォーム

（仮称）北九州市成長戦略会議（進捗管理）



部会

□ 横断的方策の取組や事業などについて意見交換等

産業基盤の
ポテンシャル開花

学術研究都市の知の活用
とGX・グリーン産業の推進

生産性向上と新しい価値
創造に向けたDX推進等

DE&I推進による誰もが
活躍できる環境の整備

アテンションを集める
ブランディング

メガリージョンの構築

■ 未来産業創造会議 ■ 同会議WGメンバー ■ 関連民間企業 ■ 市役所関係課

政策提案
連携・協力

（仮称）北九州市官民対話 テーブル

企業
経営者

- 毎年度、2つ程度の産官連携リーディングプロジェクト、KPIを設定
- プロジェクト推進のための協議・アクション等

北九州
市

産官連携リーディング
プロジェクトの提案
情報提供

産官連携リーディングプロジェクトの例

- 半導体を始めとした未来産業の誘致
- スタートアップの創出
- 次世代自動車産業の振興
- 高級ホテルの誘致 等

北九州市



北九州市産業振興未来戦略

＜発行＞北九州市産業経済局産業政策課

住所：北九州市小倉北区城内1番1号

電話：093-582-2299 FAX：093-591-2566